

大分県森林クラウドシステムの導入による森林資源情報の一元管理（R4年度～）

目的

- ・ 県、市町村、林業経営体が保有する「森林情報」の可視化・情報共有による森林整備の促進
- ・ 林業経営体が作成する伐採計画など各種申請・届出のオンライン化による事務の軽減

これまでの取組

- ・ 県が保有する空中写真や地形図（傾斜・凹凸）、林相区分図（樹種毎の境）等の情報搭載、公開
- ・ 森林経営計画等のオンライン申請を希望する林業経営体向け操作説明会の開催（12月）

背景・課題

- ・ 森林経営管理制度が始まり、森林環境譲与税を財源とした市町村による取組が拡大。
- ・ 県と市町村間の情報連携、林業経営体へのデータ提供を効率的に行える環境の再構築。

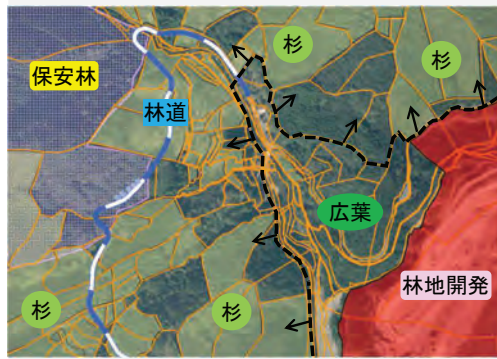
所有者への施業提案 路網設計・伐採計画

タブレット等を活用し
ビジュアル的に提案 机上で路網設計・
伐採計画等を実施

森林資源情報の活用例

令和5年度の取組内容

- 県と市町村の情報連携
 - ・ 市町村の「林地台帳（地番）」と県の「森林簿（森林資源）」をシステム上で紐付け
 - ・ 市町村が設定する森林のゾーニング情報を反映
- 林業経営体向け情報公開
 - ・ 林道等の既設路網や地形情報に加え、人工林や制限林等の場所の一元把握による現地調査・森林経営計画作成の効率化
- システム操作研修会等の開催

①市町村情報(橙線:地番、黒点線:木材生産ゾーン)に
②県の情報(林地開発、保安林、樹種)等を重ねて表示可

※森林クラウドシステムは17市町で現在利用中（令和5年4月時点）

大分県森林クラウドシステムに搭載しているデータの例



正射写真図+路網図

正射写真図+計画図

森林基本図

傾斜区分図+路網図

微地形図+路網図

森林簿情報
(個人情報無し)
etc...